



岡村 恵子 議員(日本共産党議員団)  
**持続可能な財政運営について**

**Q** 基本構想では、持続可能な財政運営との記述があるが、市民サービス削減や市民向け予算の削減で開発を進めることになれば、地域経済の低迷という悪循環が起きるのではないかと。市民ニーズを的確に捉え、中小企業支援強化と家計支援など、財源を効果的に使わなければ、持続可能な財政運営も不可能ではないか。

**A** 市長

中小企業支援強化と家計支援など、財源を効果的に使わなければ持続可能な財政運営も不可能になることについては、議員ご指摘のとおり、限られた財源ですので、選択と集中の視点に立ち、各種施策を展開していきたいと考えています。



飯田 昌弘 議員(蒼生会)  
**児童生徒の学力、心の教育について**

**Q** 本市の児童生徒の学力は全国平均よりやや劣る傾向で、不登校児童生徒も多く、いじめ認知件数も増えている。心の教育として郷土を愛することや、給食で佐野産野菜等のおいしさや食の大切さを実感することが子供たちの心を育むと考えるがどうか。

**A** 市長

学力については全国学力調査等の正答率が今年度は大幅に上昇しています。豊かな心については、郷土愛と結びつけることで育成を図れると考え、給食で地元産の食材を提供して、心の教育の推進を図っています。今後も地域との密接な結びつきの中で、いじめや不登校といった課題の解決も含め、心の教育にしっかりと取り組んでいきます。



篠原 一世 議員(政友みらい)  
**行政に対しての理解促進について**

**Q** 定住促進で人口減少の抑制を図ることは大いに歓迎すべきで、そのためには、行政が市民の目線に立つことが大変必要だと思われるが、市の考えは。

**A** 市長

行政執行については、縦割り行政の是正や、前例踏襲の緩和など積極的に見直しを行い、市民の皆様が行政に対して関心を持っていただけるよう取り組んでいかなければならないと考えています。今後とも市民の皆様からのご意見、ご要望を十分お聞きし、広報紙やSNSなどの活用により理解促進を図りながら、同じ目標に向かってまちづくりが進められるよう努めます。



小倉 健一 議員  
**赤見地区の位置づけについて**

**Q** 本市のリーディングプロジェクトである観光、スポーツ、産業・文化立市の側面も濃厚にかかわる赤見地区を都市機能が集約する箇所、都市核として位置づけできないか。

**A** 市長

現在、新しい都市計画マスタープランを策定中ですが、第2次総合計画基本構想や国土利用計画佐野市計画を踏まえ、出流原弁天池を中心とした観光拠点、運動公園を中心としたスポーツ拠点、出流原P.Aスマーティンターチェンジの設置及び総合的開発構想等、地域の特性を生かした、また地域の実情にあった形で赤見地区の土地利用のあり方を示していきたいと考えています。